

国際拠点港湾  
伏木富山港



伏木富山港の利用促進にむけて



## 目次

1. 伏木富山港の概要

2. 伏木富山港における補助制度

3. 伏木富山港の更なる活用を目指して



# 1. 伏木富山港の概要

---

# 1. 伏木富山港の概要～港の変遷～



室町時代	三津七湊の1つ岩瀬湊として栄える
江戸時代	富山の岩瀬、新湊の放生津、高岡の伏木が北前船(西回り廻船・北国廻船)の寄港地として栄える
昭和26(1951)年	伏木港と富山港が「伏木富山港」として統合し、重要港湾に指定される
昭和43(1968)年	放生津潟の掘削と港口を大きく広げ、富山新港が開港
昭和61(1986)年	「伏木富山港」が日本海側で2番目の特定重要港湾(2011年(平成23年)4月より港湾法改正のため国際拠点港湾)に指定される
昭和63(1988)年	韓国、台湾、香港へ定期コンテナ航路就航開始
平成2(1990)年	韓国への定期航路就航開始
平成14(2002)年	富山港および富山新港の国際物流ターミナル供用開始
平成19(2007)年	定期航路の中国・韓国航路が就航開始
平成23(2011)年	「伏木富山港」が日本海側拠点港(総合的拠点港)に指定される
令和元(2019)年	富山新港のコンテナ用岸壁の延伸工事完了。総延長408mとなり、12,000 t級(1,000 TEU級)のコンテナ船2隻の同時接岸、同時荷役が可能となった

# 1. 伏木富山港の概要～特色のある3つの地区～



## 伏木地区

小矢部川の河口港として古くから発展した港であり、背後地には石油配分基地等の工業地帯を形成。平成18年3月には国際物流ターミナルが完成し、大型船舶の入港に対応した物流機能を備える。

【R4貨物取扱量】140万トン

## 新湊地区

新しい臨海工業地帯の基幹的流通拠点として整備した港であり、外貨コンテナに対応するための国際物流ターミナル等の物流機能に加え、旅客船ターミナルや海王丸パークなどの交流機能を備える。

【R4貨物取扱量】463万トン

## 富山地区

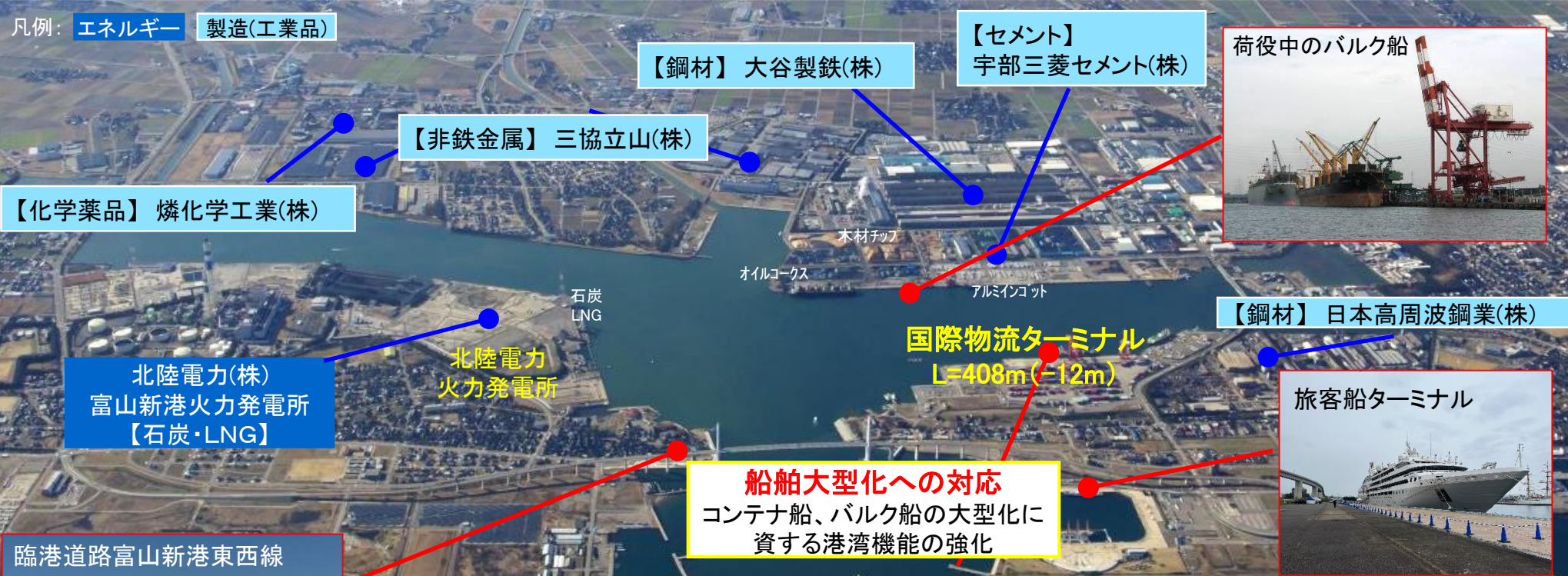
神通川の河口港として古くから発展した港であり、中古車、金属くずや生活を支えるガソリン・灯油等の石油製品などを扱う物流機能に加え、運河を活かした市民の憩いの場としての機能を備える。

【R4貨物取扱量】115万トン

# 1. 伏木富山港の概要～充実した国際物流ターミナル（新湊地区）

- 国際物流ターミナルを有し、外貿コンテナを中心に対岸諸国等への国際物流拠点
- 背後に多くの工場や発電所等が立地し、石炭、木材チップ、アルミインゴット等のバルク貨物の拠点

凡例: エネルギー 製造(工業品)



【H30年4月供用開始】  
コンテナヤード拡張10.6ha→12.8ha(現在は13.1ha)  
計画取扱量 83,000TEU→115,000TEU/年

【R1年8月供用開始】  
岸壁75m延伸、総延長408m(-12m)  
1.2万トンの級(1,000TEU級)のコンテナ船の2隻  
同時接岸・同時荷役が可能に!

【R5年9月供用開始】  
ガントリークレーンの更新

1バース(280m)耐震強化岸壁整備済

# 1. 伏木富山港の概要～コンテナヤードにおける充実した荷役サービス体制



**オンデマンドによる  
24時間の荷役体制**

**スピーディーで  
効率的な荷役環境**

効率的なコンテナターミナル  
ガントリークレーン2機、  
RTG(トランスファークレーン)4機体制



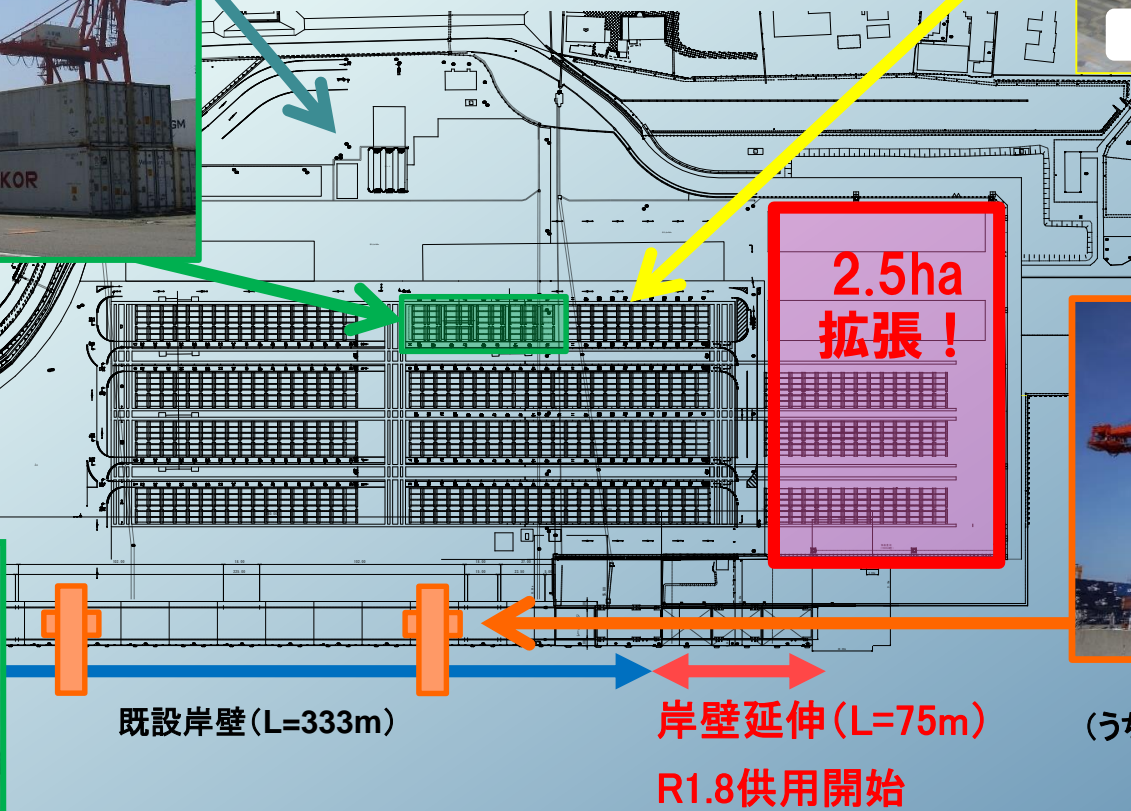
**国際物流ターミナル  
作業しやすいコンテナターミナル**



**施設機能の充実**

2隻コンテナ船同時接岸可能  
複数のリーファープラグ  
くん蒸上屋を完備、  
温度・湿度管理も万全

**2.5ha  
拡張!**



# 1. 伏木富山港の概要～海上輸送とクルーズの拠点（伏木地区）

- ・船舶の大型化への対応を図るため、外港への機能移転を展開中。
- ・12m水深の耐震強化岸壁が整備済みであり、大規模地震の発生時にも継続的な物流機能を確保。
- ・バイオマス発電所の稼働や石油製品の外港移転を予定するなど、エネルギー産業の集積が進む。





今後発生が想定される太平洋側大規模災害時にも円滑な代替輸送が可能



# 1. 伏木富山港の概要～国際RORO船の拠点（富山地区）

- ガソリン等の石油製品等を取り扱っており、市民の生活を支えている。
- ロシア向けの中古車などを取り扱っており、現在耐震強化岸壁を整備中。
- 富岩運河を中心とした親水空間が形成され、市民の憩いの場として利用されている。



# 1. 伏木富山港の概要～充実したコンテナ航路（1）～

## 韓国航路

寄港地:釜山

所要日数:輸出3～4日、輸入3日

## 中国航路

寄港地:上海、青島、大連

	輸出	輸入
大連	8	6
青島	9	5
上海	7	3

## ロシア極東航路

寄港地:ウラジオストク、  
ポスターチナイ/ナホトカ  
所要日数:輸出2～4日、輸入約9日

## ロシア極東RORO船航路

寄港地:ウラジオストク

所要時間:

	輸出	輸入
ウラジオストク	30時間	30時間

## 中国・韓国航路

寄港地:釜山、蔚山、光陽、  
大連、天津新港、寧波、上海

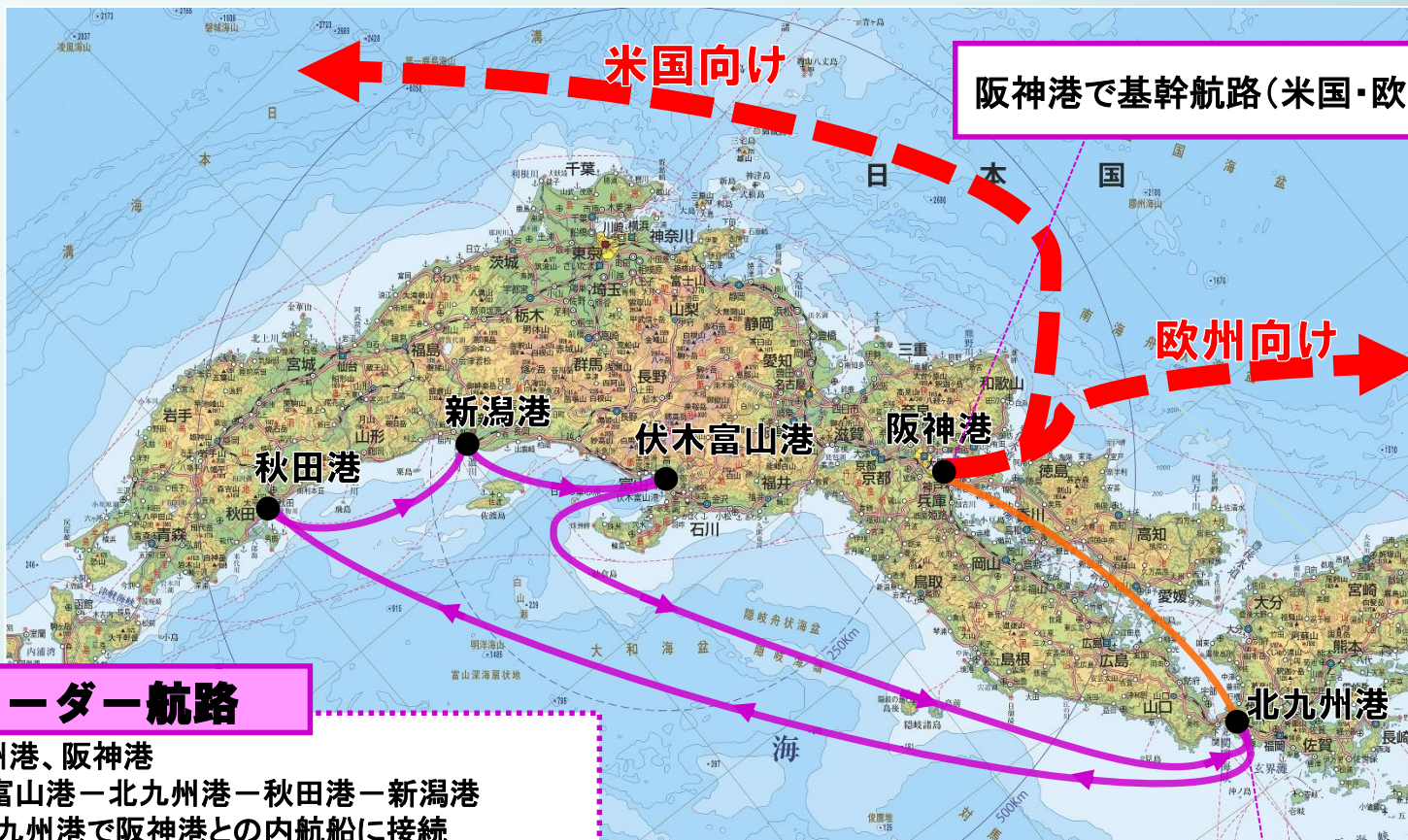
	輸出	輸入
釜山	3	3
光陽	4～5	9～10
蔚山	3	11
大連	7	6
天津新港	6	7
寧波	6	8
上海	7	7

対岸諸国への所要日数が短い

韓国・釜山港への輸出入は2～3日。釜山トランシップにより、世界各国との輸出入が可能。

# 1. 伏木富山港の概要～充実したコンテナ航路（2）～

- 令和5年5月18日(木)に**国際フィーダー航路**が就航
- 阪神港を經由して、**基幹航路**へ接続 ⇒ 欧米向け貨物輸送の利便性向上
- モーダルシフトや2024年問題の観点から、九州向けの海上輸送等でも活用が期待される



阪神港で基幹航路(米国・欧州向け)へ接続

## 国際フィーダー航路

寄 港 地: 北九州港、阪神港

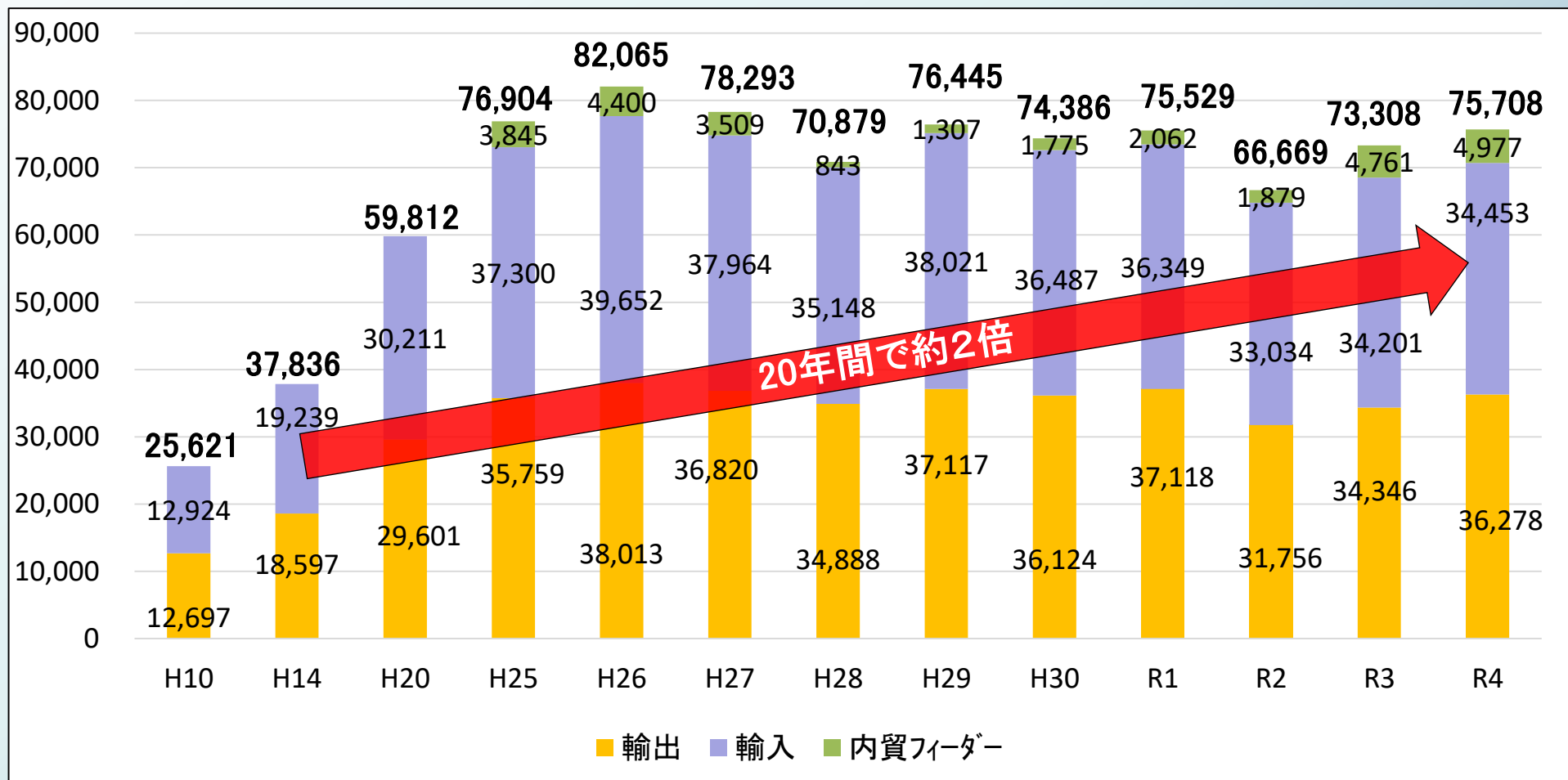
- ① 伏木富山港－北九州港－秋田港－新潟港  
※北九州港で阪神港との内航船に接続
- ② 北九州港－阪神港  
※阪神港で基幹航路と接続

所要時間:

	輸出	輸入
阪神港	6日	5日
北九州港	2日(移出)	4日(移入)

阪神港で基幹航路(米国・欧州向け)へ接続

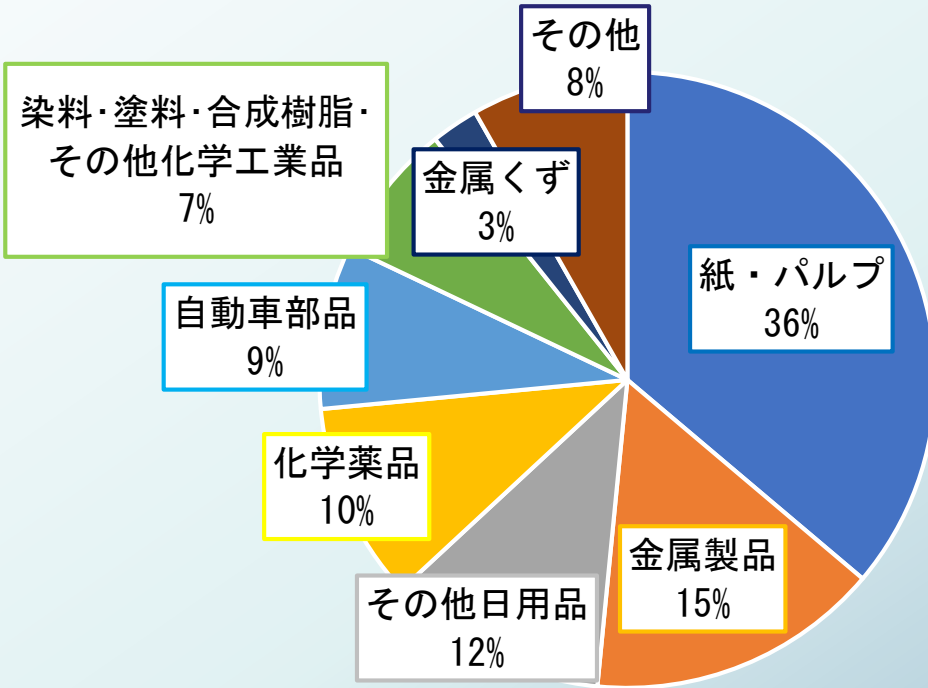
## 伏木富山港におけるコンテナ取扱個数の推移



- ・平成14年から約20年間で、コンテナ貨物取扱量が約2倍となっている。
- ・令和2年は新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、コンテナ貨物の取り扱いが減少した。
- ・令和3～4年にかけて増加に転じ、令和4年はコロナ前と同水準となった。

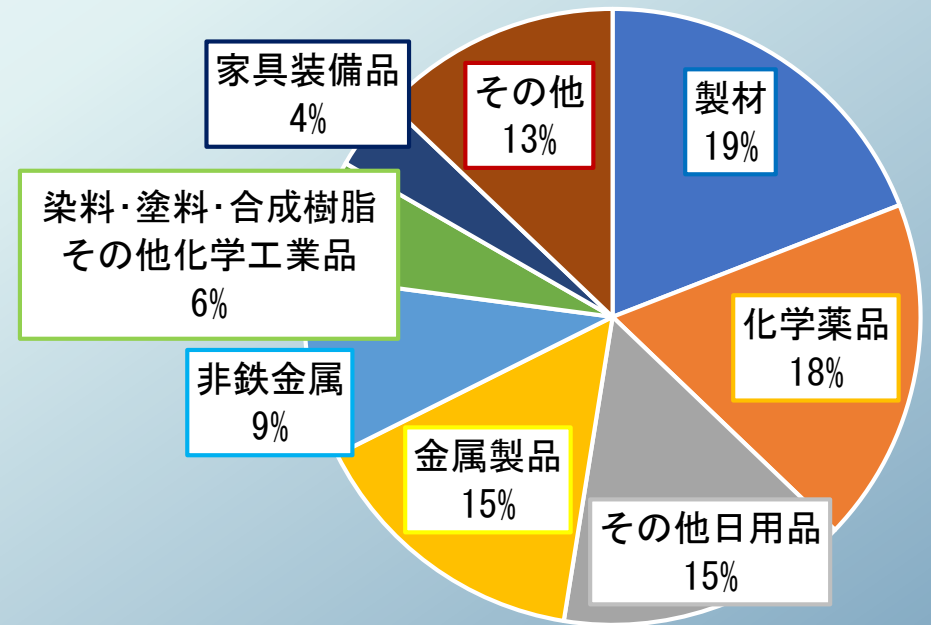
(TEUベース)

## 輸出品目



実入り・輸出 計18,385TEU

## 輸入品目



実入り・輸入 計31,987TEU

**【R4貨物動向】 ロシアによるウクライナ侵攻などの世界的な情勢不安やコロナによる上海ロックダウンの影響や円安による資材高騰となる中、コンテナ貨物の取扱量は増加**

・輸出では紙・パルプ、金属製品、輸入では製材、化学薬品が増。一方、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品の輸出入は減。



## 2. 伏木富山港における補助制度

---

## 2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

### (1) トライアル輸送補助金

#### ①伏木富山港の試行的な輸出入に対し補助

対 象	対象経費	要 件	期間	補助率	限度額
トライアル 荷主企業	国内陸上輸送費、 梱包料、国内荷役 料、輸出入諸経費、 海上輸送費	① 伏木富山港の物流拠点性の 向上に資すること ② 事業実施により50TEU以上の 取扱いが見込まれること ③ モーダルシフト、リスク分散、物流の 効率化に資すること	試験輸送 の 初年度	1/2	100 万円

#### ②トライアル補助金(伏木富山港拠点化輸送実験利用補助金)小口混載枠



対 象	対象経費	要 件	期間	補助率	限度額
荷主企業	国内陸上輸送費、 梱包料、国内荷役 料、輸出入諸経費、 海上輸送費	① 伏木富山港の物流拠点性の向上に資すること ② モーダルシフトやリスク分散、物流の効率化に 資すること ③ 伏木富山港発着の小口混載貨物輸送サービス を利用すること	試験輸送 の 初年度	1/2	20 万円
物流企業	サービス実施に係 る経費	① 伏木富山港の物流拠点性の向上に資すること ② モーダルシフトやリスク分散、物流の効率化に 資すること ③ リーフアーコンテナを使った伏木富山港発着の 小口混載貨物輸送サービスを実施すること	試験輸送 の 初年度	2/3	23 万円



## 2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

### (1) トライアル輸送補助金（新規・シフト事例A）

#### ■輸出

企業A(県内) **米国向け自動車部品の輸出**について、**現地での生産ニーズの高まり**による出荷増にそなえ、輸送コスト等見直しのため、伏木富山港及び釜山港を利用し輸送。

#### <輸送実験>

- ・シフト前: 富山→名古屋港→米国ロサンゼルス港
- ・シフト後: 伏木富山港→釜山港→米国ロサンゼルス港

#### <実験結果>

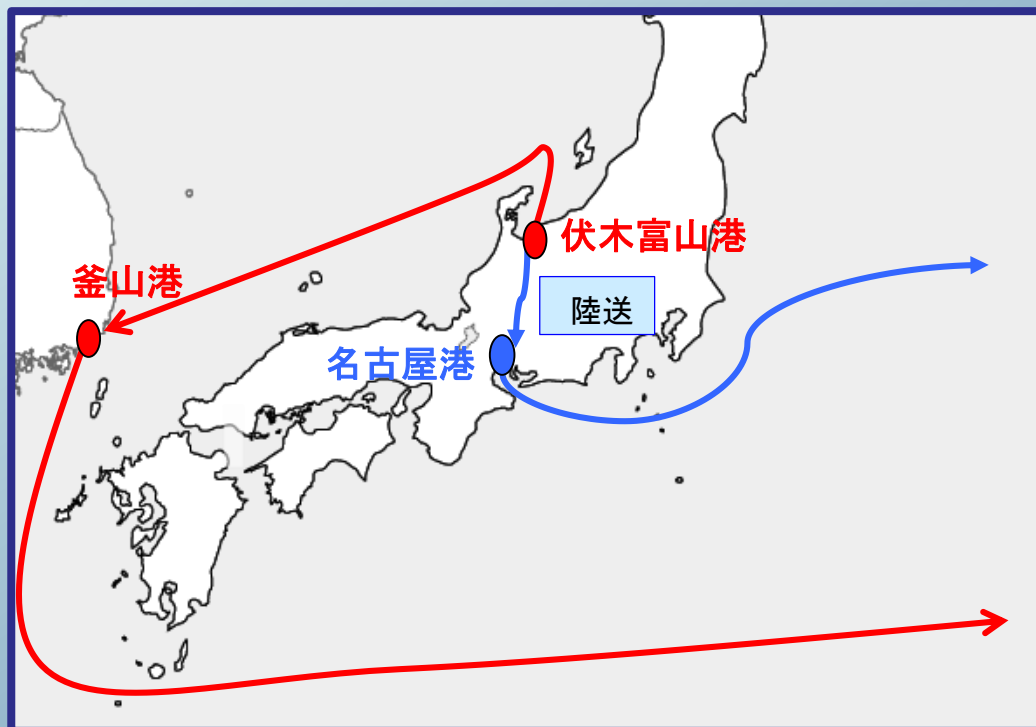
##### ○リードタイム

米国までの所要日数はともに40日程度と**大きな差はなかった。**

##### ○物流コスト

国内輸送分が削減できたため、名古屋港を利用するよりも**トータルコストが20%削減**できた。

#### ～米国向け貨物輸送トライアル～



## 2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

### (1) トライアル輸送補助金（新規・シフト事例B）

#### ■ 輸入

企業B(県内)

- ・英国から原材料の輸入について、**県外港利用時の納期硬直化や輸送コスト増を踏まえ**、リードタイム及びコスト検証のため、伏木富山港及び釜山港を利用し輸送。

#### <輸送実験>

- ・シフト前: 英国→大阪港→企業B
- ・シフト後: 英国→釜山港→伏木富山港→企業B

#### <実験結果>

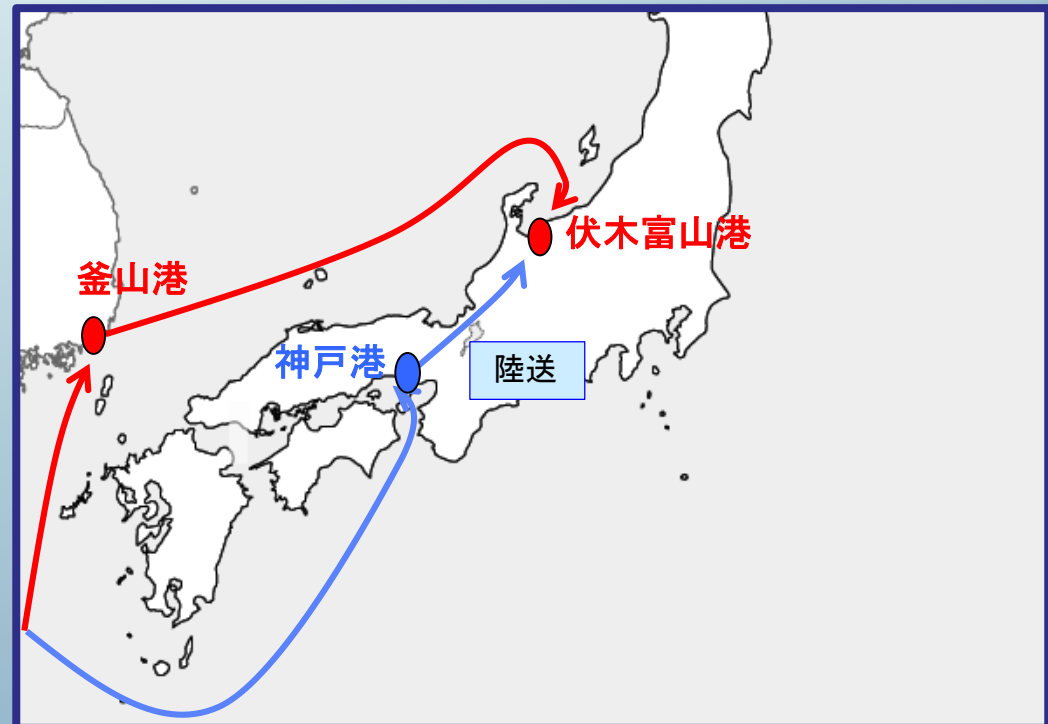
##### ○リードタイム

全体の所要日数は数日のプラスに収まり、許容範囲内であった。

##### ○物流コスト

国内輸送分が削減できたため、神戸港を利用するよりも  
**トータルコストが20%強削減**できた。

#### ～英国からの輸入貨物輸送トライアル～



## 2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

### (2) 荷主企業奨励金制度

**コンテナ貨物**

対 象		要 件	交 付 額	限 度 額
荷主企業	シフト貨物 新規貨物	10～49TEU	1万円/TEU	200万円
		50～99TEU	1.5万円/TEU	
		100TEU以上	2万円/TEU	
	2～5 年度	50TEU以上増加	前年度実績からの 増差分1万円/TEU	100万円
		100TEU以上増加	前年度実績からの 増差分2万円/TEU	200万円
継続利用 (6年以上)		コンテナ貨物量（輸出入合計）が、 過去3カ年度の平均貨物量より 50TEU以上増加	過去3カ年度平均貨物量からの 増差分2千円/TEU	200万円
商社・物流業者等		取引先荷主企業（2社以上）から、 100TEU以上集荷かつ前年度 比50TEU以上増加	前年度実績からの 増差分2万円/TEU	200万円

## 2. 伏木富山港における補助制度～荷主企業等への助成制度～

### (3) 国内輸送費助成制度

国内の陸送費高騰を踏まえ、伏木富山港の利用貨物について、  
本港までの国内輸送(トラック、トレーラー、鉄道等)に係る経費の一部を助成。

対象	要件	交付額	限度額
荷主企業	新規、シフト貨物(1TEUから)	国内輸送費の1/3補助 上限1万円/TEU	50万円

### (4) ものづくり企業輸出促進補助金

ものづくり企業が、伏木富山港から工業製品を輸出するにあたって必要となる梱包経費に対し補助

対象	要件	交付額	限度額
荷主企業	①伏木富山港を利用して工業製品を輸出するにあたり、特殊梱包を行うこと。 ②前年度に伏木富山港を利用した①の梱包による輸出を行っていないこと。	輸出梱包経費 1㎡あたり上限5千円	50万円

特殊梱包:機械類への振動等を回避するための密閉梱包、スチール梱包等

## 2. 伏木富山港における補助制度～船社等への助成制度～

### 船社助成金

定期コンテナ航路、フェリー航路、RORO航路を開設・増便する船社への助成

対 象		交 付 額	交付額	限度額
新規航路 増便	定期コンテナ航路	ガントリークレーン使用料の1割相当額 入港料・岸壁使用料の1/2相当額	航路開設日 から起算 して5年間	ガントリークレーン 1便あたり200万円
	定期フェリー航路 定期RORO航路	入港料・岸壁使用料 開設日～2年以内…全額 2年を超え5年以内…2/3相当額		なし

## 2. 伏木富山港における補助制度～物流業務施設の立地助成制度～

県内での物流施設の新規立地又は増設に伴う投資額や新規雇用者数に応じて新たに助成金を交付。

対 象	助成対象	交付要件	限度額	限度額
製造業 運輸業 小売業 卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地・建物</li> <li>・ 設備（設備のみの取得を除く）</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>R5年度、増設時の要件緩和</b></p> <p>【新規立地又は増設】 5億円以上かつ新規雇用10人以上</p>	投資額の5% (県1/2 市町村1/2)	1億円

■立地要件: 社会資本等(港湾、インターチェンジ、鉄道貨物駅等)の周辺5kmの区域内

■施設要件: 保管、配送に留まらず、在庫管理や検品、梱包など 物流機能の高度化に資する施設

**※単なる倉庫ではなく、高度な物流機能を有することが必要**



### 3. 伏木富山港の更なる活用を目指して

---

#### ●物流業界の環境変化を踏まえた集荷促進

##### ◆ 国内輸送環境の変化に対し、国内輸送費を助成

○ ドライバー不足、働き方改革による労働時間規制(2024年問題)

陸送費高騰などの課題、長距離輸送が困難に

→ 荷主企業に対し地元港利用の働きかけを強化

○ 太平洋側港の混雑、災害等へのリスク対応 → BCPの観点からの利用を

#### ●充実したインセンティブ制度による支援

・伏木富山港を利用促進のための支援制度を実施

#### ●伏木富山港の機能強化

・新湊地区国際物流ターミナルのガントリークレーン1号機を更新(~R5)

### 1 安全・安心な事業環境

- ・地震や津波、台風が少ない。自然災害が少ない安全・安心な事業環境。

### 2 三大都市圏からの交通アクセス

- ・関東、中京、近畿の3大都市圏と等距離にあり、高速道路、鉄道など交通インフラも整備。

### 3 充実した荷役サービス体制

- ・機能強化が進められ、充実した荷役サービス体制を持つコンテナヤード。

### 4 手厚い補助制度による支援

- ・新規、シフト貨物を中心に、インセンティブ制度により伏木富山港を利用した貨物輸送を手厚くサポート。



## ○本資料に関するお問合せ先

富山県商工労働部立地通商課

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL : 076-444-3400 / FAX : 076-444-8753

## ○伏木富山港の利用に関するお問合せ先

### ・伏木海陸運送（株）

〒933-0104

高岡市伏木湊町5番1号

TEL : 0766-45-1111

FAX : 0766-45-1198

### ・日本通運（株）

北陸東支店

富山国際物流事業所

〒934-0095

高岡市石丸704-11

TEL : 0766-82-8740

FAX : 0766-84-3410

### ・富山港湾運送（株）

〒931-8688

富山市東岩瀬町100番地

TEL : 076-437-9231

FAX : 076- 437-9115